【脳卒中】

番号	D　個別施策アウトプット
1	・一次予防の取組強化 ・糖尿病重症化予防の強化 ・循環器病の正しい知識の普及啓発 ・スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備
2	・特定健診・保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成 ・特定健診等の重要性の県民への普及啓発 ・健診の実施体制の強化
3	・在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進 ・循環器病の相談窓口の利用促進
4	・循環器病の正しい知識の普及啓発 ・応急手当等の普及啓発
5	・メディカルコントロール協議会の活動を通した救命措置等や搬送の推進 ・救急救命士の配備体制の充実
6	・ドクターヘリの安全かつ効果的な運用 ・救急搬送情報共有システムの効果的な運用
7	・24時間体制で急性期医療が実施される新しい体制の整備、医療の均てん化及び集約化 ・各治療ステージに携わる人材の育成 ・循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究
8	・各治療ステージに携わる人材の育成 ・在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
9	・24時間体制で急性期医療が実施される新しい体制の整備、医療の均てん化及び集約化 ・各治療ステージに携わる人材の育成 ・相談支援体制の充実・移行期医療の拠点の早期設置等 ・循環器病の相談窓口の利用促進
10	・在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進 ・各治療ステージに携わる人材の育成 ・糖尿病重症化予防の強化
11	・各治療ステージに携わる人材の育成 ・在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
12	・各治療ステージに携わる人材の育成 ・ケアマネジメント機能強化、多職種連携の推進
13	・各治療ステージに携わる人材の育成 ・地域におけるリハビリテーション体制の充実 ・保健福祉事務所等による普及啓発活動・相談支援の充実
14	・両立支援コーディネーターを活用した構築の推進

番号	C　初期アウトカム
1	危険因子の知識を普及させる
2	特定健診の内容が充実されている。また，特定健診・特定保健指導を受けることができている
3	危険因子の管理，合併症への対応が可能な体制が整備されている
4	本人及び家族等が発症後速やかに救急搬送要請ができている
5	救急救命士が、地域のメディカルコントロール協議会が定めた活動プロトコールに沿って適切な観察・判断・処置ができている
6	急性期医療を担う医療機関へ迅速に搬送できる体制が整っている
7	脳卒中の急性期医療に対応できる体制が整備されている
8	誤嚥性肺炎等の合併症の予防及び治療が行える体制が整備されている
9	急性期の医療機関等と回復期の医療機関等の連携体制及び自宅退院困難者に対する医療施設や地域の保健医療福祉サービスとの連携体制が構築されている
10	再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理、合併症への対応が可能な体制が整備されている
11	誤嚥性肺炎等の合併症の予防及び治療が行える体制が整備されている
12	回復期・維持期の医療機関等と急性期の医療機関や施設、地域の保健医療福祉サービスの連携体制が構築されている
13	生活機能の維持・向上のためのリハビリテーションが提供される体制が整備されている
14	脳卒中患者の疾病罹患後の就労両立支援推進体制が整備されている

番号	B　中間アウトカム
1	【予防】 脳血管疾患の発生が減少している
2	【救護】 患者ができるだけ早期に専門医療機関へ搬送される
3	【急性期】 発症後早期に専門的な治療・リハビリテーションを受けることができる
4	【回復期・維持期】 身体機能の早期改善，日常生活への復帰、生活機能維持・向上のためのリハビリテーションを受けることができる

番号	A　分野アウトカム
1	脳血管疾患による死亡が減少している
2	脳血管疾患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができている